

バレーボール大会における感染拡大防止ガイドライン

1 趣旨

本ガイドラインは新型コロナウイルス感染症拡大防止を目的とし、千葉県高体連バレーボール専門部が主催するバレーボール大会を実施するうえで、大会運営に関する留意事項を示したものであり、大会運営において大会運営者、選手及び関係者に周知・徹底する。

2 大会開催の指針

大会を開催するにあたり、「新型コロナウイルス感染症 学校における感染症対策ガイドライン(千葉県教育委員会)」、「新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえた千葉県高等学校体育連盟主催大会開催指針(千葉県高等学校体育連盟)」、「大会運営ガイドライン(日本バレーボール協会)」に従い、安全な大会運営に取り組むこととする。

3 大会開催時の感染拡大防止策

(1)大会会場に入場できる者

- ①大会会場に入場できる者(以下「入場者」という)は原則、大会役員、大会参加者(生徒、大会に出場しない生徒、引率者、監督、コーチ)及び関係学校職員とする。ただし感染状況により、安全に大会を運営できないと判断した場合は、参加者の人数を制限する場合もある。
- ②観客については制限をなしとする。ただし、千葉県高等学校体育連盟、バレーボール専門部及び施設管理者のいずれかが、安全に大会を運営できないと判断した場合はこの限りではない。

(2)大会会場

可能な限りの感染症対策をおこなうこと。大会会場で複数のチーム同士(補助役員も含む)及び観客が接触する機会を可能な限り減らすこと。

ア 設定

- ①大会会場として使用する学校に偏りが無いこと。
- ②会場となる学校長の承諾を得ること。(観客の入場について説明すること)
- ③大会会場校の試合が含まれており、会場校の顧問が「会場責任者」となること。

イ 受付

- ①入口には手指消毒剤を設置する。入場者のマスクの着用を確認する。
- ②入口には感染予防の確認事項を掲示する。該当項目がある場合の入場は認めない。

【確認事項】 該当項目がある場合の入場は認められません

〈大会当日及び大会7日前における体調について〉

- ① 平熱を超える発熱
- ② 咳、喉の痛みなどの風症状
- ③ だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)
- ④ 臭覚や味覚の異常
- ⑤ 体が重く感じる、疲れやすい等

- ③引率責任者は大会参加者(生徒、大会に出場しない生徒、引率者、監督、コーチ)の健康状態を確認し、様式1「健康チェック報告シート」(別紙)を本部に提出する。

ウ 控室

- ① 控室についてはチームごとに設定することが望ましいが、確保できない場合については、空間的制限と時間制限を設けるなど工夫する。
- ②控室には、「黙食」等の張り紙をする。
- ③食事は会話を控え、向かい合っただけの食事は控える。食事後はその付近の消毒を各チームで行う。
- ④密閉空間にならないように常時換気をおこなう。

- ⑤複数の入場者が触れると考えられる場所(ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等)はこまめに消毒する。
- ⑥ごみ箱は設置しない。ゴミは各チームが持ち帰るよう指導を徹底する。
- ⑦試合が終了したチームは速やかに控室より退去し、引率責任者または引率責任者の立会いの下、消毒作業をおこなう(異性の控室では、誤解を招くことのないように注意する)。また消毒作業が終了したことを会場責任者に報告する
- ⑧全試合が終了後、役員は使用場所(会場、トイレ、控室等)の消毒作業を実施する。

エ トイレ・洗面所

- ①学校施設では使用するトイレを指定する。
- ②ペーパータオルは使用しない。
- ③ハンドソープ(ポンプ型)を設置する。
- ④「手洗いは30秒以上」「マイタオルを使用すること」と掲示する。
- ⑤手洗いが難しい場合はアルコール等の手指消毒剤を用意する。
- ⑥「トイレの蓋を閉めて汚物を流してください」と表示する。
- ⑦複数の入場者が触れると考えられる場所(ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等)はこまめに消毒する。

オ 競技

① 大会参加者及びチームの参加

- ・引率職員は「大会参加者への確認事項」に該当する者がいた場合、該当者の参加を見合わせるよう指導する。
- ・陽性者及び濃厚接触者として出席停止になっている生徒の参加は認めない。
- ・二週に亘り大会が開催される場合、参加したチームは健康観察に努める。一週目に対戦した敗者チームから「陽性者」が出た場合、当該チームは速やかにバレーボール専門部に連絡する。その際に陽性者が出たチームと対戦した二週目の大会に参加するチームの出場については、参加者の感染状況及び健康状態等を観察し、当該チームの校長が判断する。

※大会参加については、県教育委員会または千葉県高等学校体育連盟に通知に準じる。

② コート

- ・手指消毒剤を記録席に設置する。
- ・大会会場において、換気の悪い密閉空間にならないように十分な喚起を行う必要がある。しかし、試合中は遮光の関係で暗幕を閉じる必要がある場合は試合間に窓を開け外気を取り入れ等の換気を行う。また熱中症対策についても十分留意する。

③ 試合

- ・試合前に必ず消毒を行うこと。試合間は換気を行う。その間に競技役員(審判員)はボール、ネットの白帯、記録席、筆記用具、線審のフラッグ、得点板、モップ等の試合で使用する備品類の消毒をおこなう。(チームは会場に入れない)
- ・チームは試合開始時、終了後は競技役員の指示で移動する(試合終了後の換気及び消毒作業が終了し、競技委員の指示があるまで会場への入場はできない)。
- ・試合への出場選手以外は、チーム関係者全員がマスクを着用する。また、自身の感染リスクや他の選手に配慮してコート内の選手がマスクを着用してもかまわない。
- ・タオルの共有やドリンクの回し飲みは絶対に避ける。チーム内で出たゴミは必ず持ち帰り、試合終了後は、使用したベンチを引率職員が消毒する。
- ・試合前のコイントス時、キャプテンと審判のあいさつや試合前後の握手に関して、当面は一礼に変える形式とする。

④ 競技中の配慮事項の協力要請

競技中も選手、スタッフ同士の接触を減らすよう配慮する必要から、参加チームには事前に次の事項の協力を要請する。

- ・選手、観客は大きな声での会話や応援はしないこと。
- ・試合前の円陣や陣地での集合時においてもできるだけ密集・接触を避ける。
- ・競技中のハイタッチは避け、腕のタッチにとどめる(できるだけ避けるように)。
- ・競技中は靴底を触らない。(シューズクリーナーの使用など)
- ・ベンチでは離れて座り、ウォームアップエリアでも密に気を付けて私語は慎む。

- ・タオル、水ボトル、アイシングパックなどの共用は禁止とする。
- ・試合終了後は、係の指示に従い速やかに退場する。会場内でのミーティングはおこなわない。

4 観客の入場

- ・観客の入場については、「3 大会開催時の感染拡大防止策(1)大会会場に入場できる者」に従い専門部または地区で決定する。
- ・観客は入場の際には、マスクを着用と確認事項を確認し該当項目がない者とする。
- ・手指消毒をおこなう。
- ・入場者と観客の接触を減らすよう観客の動線とゾーニングを設計するなど工夫する。
- ・観客の会場の入退場については、入場者と同様に密にならないように移動をお願いする。
- ・マスクの正しい着用を拒否したり、大声を出すなど感染症対策を守れない場合や本ガイドライン及び会場役員(係)の指示に従わない場合は、チーム関係者(引率責任者)を通じて当該観客の退場の指示をおこなう。
- ・観客の入場を許可する場合は、当該施設管理者の許可を得ること。

5 その他

- (1) 大会終了後、大会参加日を含め4日以内に新型コロナウイルス感染症の陽性者が発生した場合は、地区主任に通してバレーボール専門部に報告すること。
- (2) 本ガイドラインは「新型コロナウイルス感染症 学校における感染症対策ガイドライン(千葉県教育委員会)」、「新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえた千葉県高等学校体育連盟主催大会開催指針(千葉県高等学校体育連盟)」、「大会運営ガイドライン(日本バレーボール協会)」及び地域の感染状況及び感染防止対策の変更事項を確認・検証し、適宜改定をする。

令和3年6月 9日策定

令和3年8月18日改訂

令和4年4月27日改訂

令和4年9月27日改訂

令和5年2月17日改訂